

取扱説明書

施工説明付

品番：NQ23171Z (埋込)

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

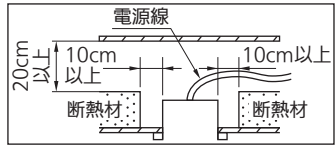
工事店様へ 本器の設定手順は、PiPit+ハンディライコンの取扱説明書に記載しております。
施工後、本書とPiPit+ハンディライコンの取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

- 施工は、取付方法にしたがい確実に行う。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。
火災の原因となります。
- 器具の改造は行わない。
落下・感電・火災の原因となります。
- 天井埋込専用です。壁取付や天井直付および傾斜天井への取り付けをしない。
落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧 (定格電圧±6%)・周波数以外の電源で使用しない。
感電・火災の原因となります。



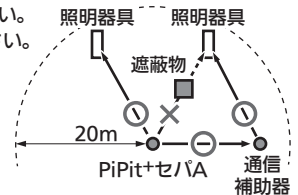
注意

- 直射日光の当たる場所、湿気が多い場所、振動の強い場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度0℃～35℃で使用してください。指定外周囲温度での使用は短寿命の原因となります。
- 本器を取り扱う際には手袋などの保護具を使用してください。けがのおそれがあります。
- PiPit+セパAには寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。必ず点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度35℃、1日10時間使用です。

点検せずに長時間続けるとまれに火災・感電などに至る場合があります。
1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検を行ってください。
3年に1回は工事店などの専門家による点検をお受けください。

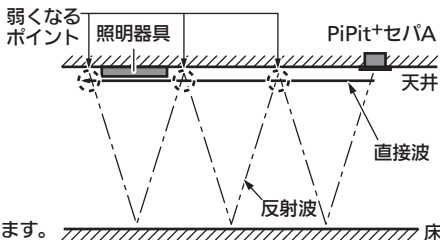
施工に関するお知らせ

- PiPit+ハンディライコン (NK23091) は必ずご購入ください。設定操作に必要なになります。
- 右図のように照明器具はPiPit+セパAから見通し※距離20m以内に設置してください。
- 壁や柱などの遮蔽物で照明器具を直視できない場合は通信補助器を設置してください。通信補助器はPiPit+セパAから見通し距離20m以内で、PiPit+セパAと照明器具両方を見通せる位置に設置してください。
- 下記のような使用環境では、電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は、動作しないことがありますのでご注意ください。
 - ・本器と照明器具間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障害がある。
 - ・本器または照明器具の近く (10m以内) で、マイクロ波治療器を使用している。
 - ・近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。
 - ・金属物に本器を取り付けている。
 - ・操作する人の体の向きで電波を遮っている。
 - ・本器周辺が金属物で囲まれている。(スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど)
 - ・本器と照明器具間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
 - ・本器または照明器具の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。



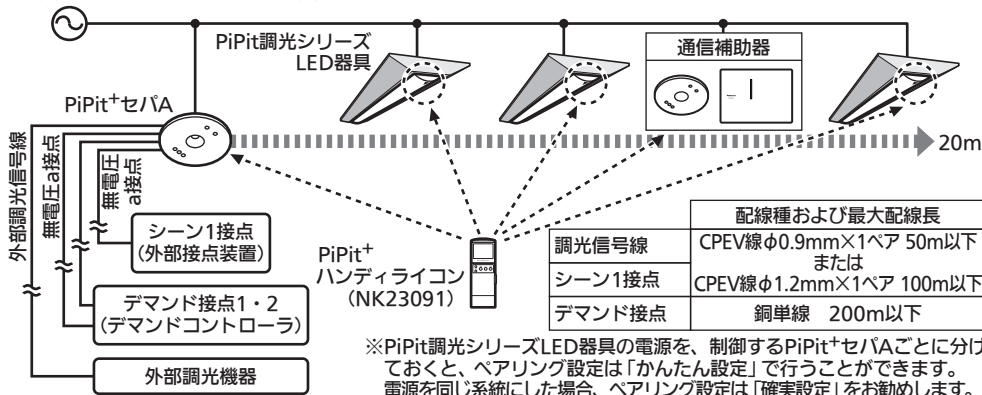
※見通しとは、PiPit+セパAから照明器具が直視できる状態です。

- 本器は無線通信にて照明器具を調光します。最初にどの照明器具を制御するかの設定（ペアリング設定）の作業を必ず実施してください。
- PiPit+セバAとペアリングされた照明器具は、ハンディライコンで直接調光操作できません。
- 異常動作時などにすぐに電源を遮断できるように照明器具の電源には、別途スイッチを必ず設けてください。
- 本器は壁、窓、天井まで達する什器やパーティションから50cm以上離してご使用ください。
- 送信電波が医療電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため、照明器具と本器は医療電気機器から20cm以上離してご使用ください。
- 内装変更で遮蔽物が介在するなど、通信環境を変更した場合は予め動作を確認してからご使用ください。
- 照明器具との無線信号が遮断された場合、照明器具は状態を保持します。ただし、照明器具が消灯状態の場合のみ遮断されてから60秒後に100%点灯します。（無線信号が混雑すると消灯状態の器具が点灯する可能性があります）
- 調光レベルは照明器具の調光範囲内で設定できます。（範囲外では照明器具の調光下限で点灯します）
- 人命ならびに社会的に重大な影響を与えることが予想される用途には使用しないでください。
- 右図のように到達距離範囲内でも電波が弱くなる場合がありますのでご注意ください。
- 複数のPiPit+セバAを同時に一斉操作すると無線信号が混雑し、照明器具の動作にバラつきが生じることがあります。
- 電波ノイズを受けると、誤動作や動作しない原因になります。
- 周囲温度が高い場合、使用時間が長い場合などは寿命が短くなります。



システム構成図

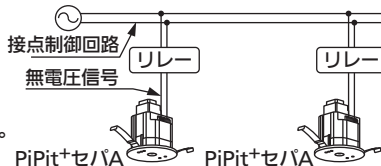
- PiPit+セバAとPiPit調光シリーズLED器具およびPiPit+ハンディライコンでシステム構成は完成します。
- 外部調光機器や無電圧a接点などの外部連動との組み合わせにより、システムを拡張することも可能です。



| 名称 | 品番 | 説明 |
|---------------------|--|---|
| PiPit+セバレートセルコンAタイプ | 埋込 NQ23171Z 直付 NQ23185K | 本コントローラ（PiPit+セバレートセルコンAタイプ）になります。 |
| 通信補助器 | 埋込 NK23071 直付 NK23081 壁付 NK23010 | 3タイプのいずれも使用することができます。 |
| PiPit調光シリーズLED器具 | カタログ参照 | 当社製PiPit調光シリーズ専用の照明器具になります。 |
| 外部接点装置、デマンドコントローラ | — | 市販の無電圧a接点タイプの外部接点装置になります。 |
| 外部調光機器 | NQ28861K NQ28841K | ライトマネージャー-FxIになります。 |
| | NQ21502 NQ21505 | 信号線式ライコンになります。 |
| | FSK91060U | スーパーマーケットセルコンになります。 |
| | NK51012 | PD/調光信号変換インターフェースになります。 ※「マルチ調光調色システム」内での使用になります。 |
| 信号変換インターフェース | NK23075 | 無線/PWM信号変換インターフェースになります。 |
| PiPit+ハンディライコン | NK23091 | PiPit専用コントローラ、通信補助器、PiPit調光シリーズLED器具の設定・操作用リモコンになります。 |

配線設計上の留意点

1. 無電圧a接点接続線、外部調光信号線は小勢力配線ですので、電源線とは接触しないように配線してください。
2. 無電圧a接点は複数のPiPit+セバVAでの共用はしないでください。一括連動される場合は、右図のようにリレー回路等を設けてください。
3. 無電圧a接点には、ほたるスイッチを使用しないでください。



仕様

| | |
|--------|--------------------------------|
| 定格電圧 | AC100-242V (50/60Hz) |
| 使用温度範囲 | 0~35℃ (結露なきこと) |
| 制御方式 | 無線通信 (中心周波数 927.2MHz) |
| 通信距離 | 見通し距離20m |
| 適合負荷 | 当社製PiPit調光シリーズLED器具 (起動方式: RZ) |

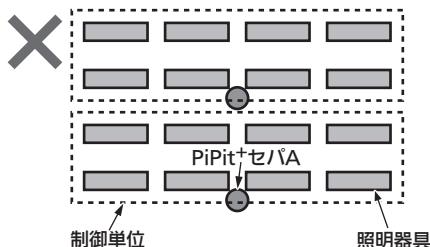
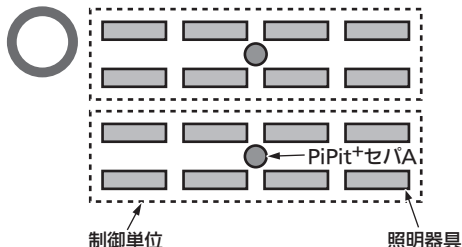
●付属品 : 取扱説明書 1部

無線通信 (電波) に関して

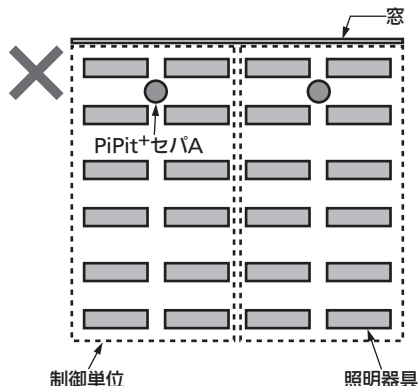
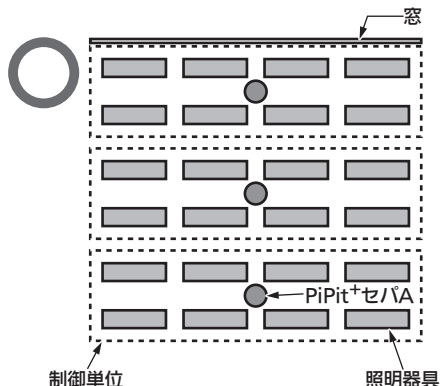
- ・本器には認証済みの920MHz帯特定小電力無線設備を内蔵しています。
- ・この920MHz帯特定小電力無線設備は分解・改造することは法律で禁じられています。
- ・この920MHz帯特定小電力無線設備は外国の電波法には適合していません。日本国内でのみ使用可能です。

器具配置上のご注意

1. 設置面照度が約15~1000[Lx]となるような明るさセンサ検知範囲内の反射率環境としてください。設置面照度が約15[Lx]を下回るか、約1000[Lx]を超える場合、明るさ設定をすることができません。
2. 検知範囲が制御器具を重点的にカバーする場所にしてください。多数灯の照明器具を一括制御しますが、制御はセンサ検知範囲内からの反射光で行っていますので、制御単位の検討には十分配慮してください。(下図参照)



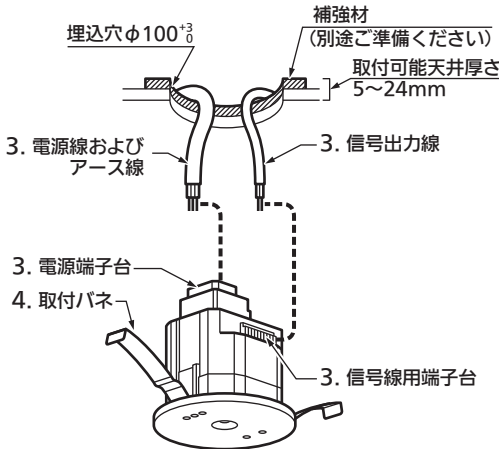
3. 昼光利用のため、PiPit+セバVAを窓際に設置する場合は、窓からの距離は(天井高さ÷1.3)m以上離してください。窓に近づけて設置するとセンサが昼光を直接感知し、照明器具の出力を抑え過ぎてしまう原因となります。
4. 下図右のようにPiPit+セバVAを配置すると、窓から離れた場所では照度が不足する恐れがありますので、下図左のように窓から離れるにつれてPiPit+セバVAを複数台設置することをお勧めします。



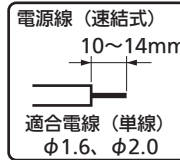
5. センサ検知範囲内にロッカーなどの高い什器が配置された場合、検知範囲内の反射率が変化するため、制御したい場所の明るさを適正に制御できない場合があります。
6. PiPit+セバVAが壁面やパーティション近傍などに設置された場合、壁面やパーティションなどの反射光の影響を受け、制御したい場所の明るさを適正に制御できない場合があります。
7. PiPit+セバVAの制御単位以外の照明器具からの光がセンサ検知範囲内に入射したり、空調などで照明器具の明るさの変化したりすると、制御したい場所の明るさを適正に制御できない場合があります。

各部の名前と取り付けかた

ロックワール等やわらかい天井に取り付ける場合は、必ず取付パネと天井の間に補強材（金属製を除く）を入れてください。
補強材のない場合、器具落下の原因となります。

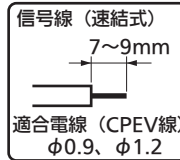


1. 取り付け前の確認
 - ・器具質量 (0.30kg) に十分耐えるよう天井の強度を確認する。不備があると器具落下の原因となります。
2. 埋込穴の開口
 - ・埋込穴を左図のように用意しておく。
3. 電源線・信号線の接続
 - ・電源線を本体の電源端子台に確実に接続する。
 - ・D種（第3種）接地工事が必要です。
 - ・電源端子台の送り容量は、20Aです。

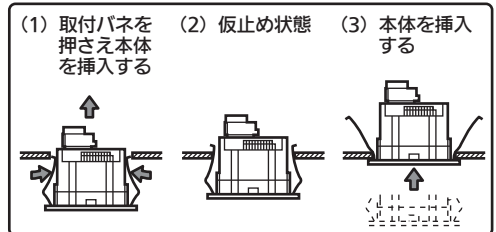
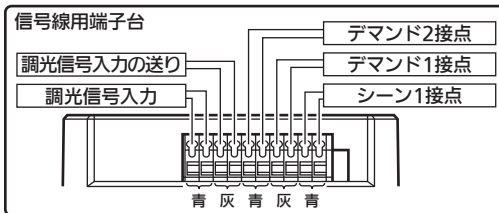
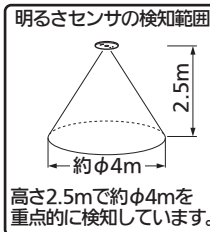
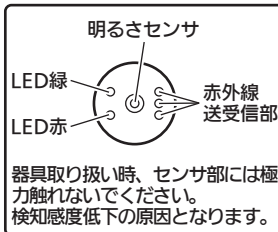


接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

- ・信号線を本体の信号用端子に確実に接続する。
- ・結線終了後、電線にねじり力など無理な力が加わらないよう処理をおこなってください。



4. 本体の取り付け
 - ・本体を取付パネで確実に取り付けます。不備があると器具落下の原因となります。



5. 各種設定
 - ・無線設定、明るさ設定はPiPit+ハンディライコンの取扱説明書をご参考ください。

使用上のご注意

1. 多数灯を一括で制御しますが、明るさセンサにより観測している照度はセンサ検知範囲内（設置高さ2.5mで約φ4m）ですので、その他の範囲は設定照度から外れることがあります。予めご了承ください。
2. センサ検知範囲内の反射率が大幅に変化する際（人が密集する場合等）には光出力が変化することがありますので予めご了承ください。
3. 取り付けされる環境（天井、壁、床などの反射率、外光の強弱など）によっては、照明器具の光出力にバラツキが生じ輝度ムラが生じることがありますが、異常ではありません。
4. 省エネ効果を保つために年1回の清掃をお勧めいたします。
5. PiPit+ハンディライコンによる明るさ設定は、什器などが搬入された最終使用環境において行ってください。
 - ・什器などの搬入前のオープンスペースで明るさ設定を行っても、什器などが搬入されるとセンサ検知範囲内の反射率環境が変化してしまい、設定した明るさが変化してしまいますので、明るさの再設定が必要となります。
6. 外部調光信号運転中の場合、PiPit+ハンディライコンで確認した調光レベルと各種機器に表示される調光レベルは異なる場合があります。